Windows 11 専用 ・ 初心者向け

追加のソフトは要りません。パソコンに最初から入っています。

Microsoft Defender かんたん使い方マニュアル

パソコンをウイルスから守る「Windows セキュリティ（Microsoft Defender）」の開き方、安全かどうかの見方、ウイルスチェック（スキャン）と更新の仕方を、画面の絵と大きな手順番号でまとめました。

まず覚えるのは、この3つだけです。
1. 開く　　2. 緑のチェックを確認する　　3. たまにスキャンする
この3つができれば、日常の使い方は十分です。

このマニュアルの使い方

上から順番に、番号どおりにクリックしてください。ボタンや項目の名前は、実際の画面に出る言葉そのままで書いています。画面が少し違って見えるときは、名前が同じ項目を探してください。

もくじ

1. Windows セキュリティを開く …… 2ページ
2. 安全かどうかを確認する …… 3ページ
3. スキャンする（ウイルスチェック）…… 4ページ
4. 最新の状態に保つ（更新）…… 5ページ
5. 警告が出たとき ・ 毎日の習慣 …… 6ページ

対象：Windows 11　／　アプリ名：Windows セキュリティ（Microsoft Defender ウイルス対策）
※ 別のウイルス対策ソフトを入れているパソコンでは、Defender が自動で止まっていることがあります。その場合は、そのソフトの案内に従ってください。

ケーエイチシー　https://www.shop-khc.jp/ww/
作成　マニュアル作成担当　Meta AI　レン君

1. Windows セキュリティを開く

いちばん確実な開き方です。検索を使う方法が速いので、こちらを覚えてください。

1 **画面下の虫めがね、またはスタートを押す**
画面いちばん下の真ん中にある **スタート**（四角が4つのマーク）をクリックします。

2 **「Windows セキュリティ」と入力する**
キーボードで **windows セキュリティ** と入力します。途中まで入力すると候補が出ます。

3 **「Windows セキュリティ」をクリックして開く**
盾のマークのアプリです。開くと、次のような画面になります。



図：Windows セキュリティのホーム画面（イメージ図）。左側のメニューと、右側の項目一覧が基本の形です。

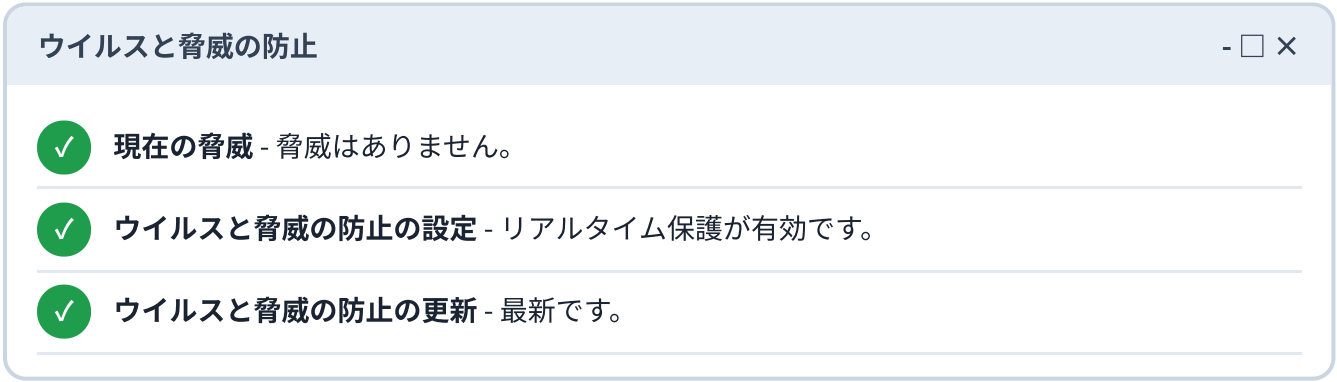
設定から開く方法もあります： **スタート** → **設定** → **プライバシーとセキュリティ** → **Windows セキュリティ** → **Windows セキュリティを開く**

2. 安全かどうかを確認する

ホーム画面のマークの色を見るだけです。難しい言葉を覚える必要はありません。

マーク	意味	すること
✓ **緑のチェック**	安全です。問題ありません。	何もしなくて大丈夫です。
! **黄色**	確認した方がよいことがあります。	その項目を開き、画面の指示に従います。
× **赤**	すぐ対応が必要な問題があります。	その項目を開き、指示に従います。迷ったら相談してください。

1. **ホーム画面で、すべての項目が緑か見る**
   「対策は必要ありません」と書いてあれば安全です。
2. **黄色や赤があったら、その項目をクリックする**
   たとえば「ウイルスと脅威の防止」を開きます。
3. **画面に出たボタンを押す**
   「有効にする」「今すぐ再起動する」など、画面が次にしてほしいことを教えてくれます。そのボタンだけ押してください。



図：「ウイルスと脅威の防止」の画面（イメージ図）。3つとも緑なら、この項目は安全です。

大切な確認：「リアルタイム保護」が **オン** になっているかを見てください。オフになっていたら、オンに戻してください。自分でオフにした覚えがないのにオフのときは、サポートに相談してください。

3. スキャンする（ウイルスチェック）

スキャンは「パソコンの中を調べて、ウイルスがいないか確認すること」です。通常は自動でも行われますが、自分で実行できると安心です。

1. **「ウイルスと脅威の防止」を開く**
   ホーム画面、または左側のメニューから選びます。

2. **クイック スキャン を押す**
   よく狙われる場所だけを調べます。数分で終わることが多いです。ふだんはこれで十分です。

3. **終わるまで待つ**
   スキャン中もパソコンは使えます。「脅威は見つかりませんでした」と出れば完了です。

もっとしっかり調べたいとき - フル スキャン

1. **「スキャンのオプション」を押す**
   「クイック スキャン」ボタンの下にある青い文字です。

2. **「フル スキャン」を選んで「今すぐスキャン」**
   パソコン全体を調べるので、1時間以上かかることがあります。時間に余裕があるときに行ってください。

種類	時間の目安	こんなとき
クイック スキャン	数分	ふだんの確認、月1回くらい
フル スキャン	1時間以上	動きがおかしい、広告が急に増えたとき
カスタム スキャン	場所による	USBメモリなど、特定の場所だけ調べたいとき

何か見つかったら： 画面に「脅威が見つかりました」と出たら、指示に従って「検疫」または「削除」を選んでください。自動で対処されることも多いです。

4. 最新の状態に保つ（更新）

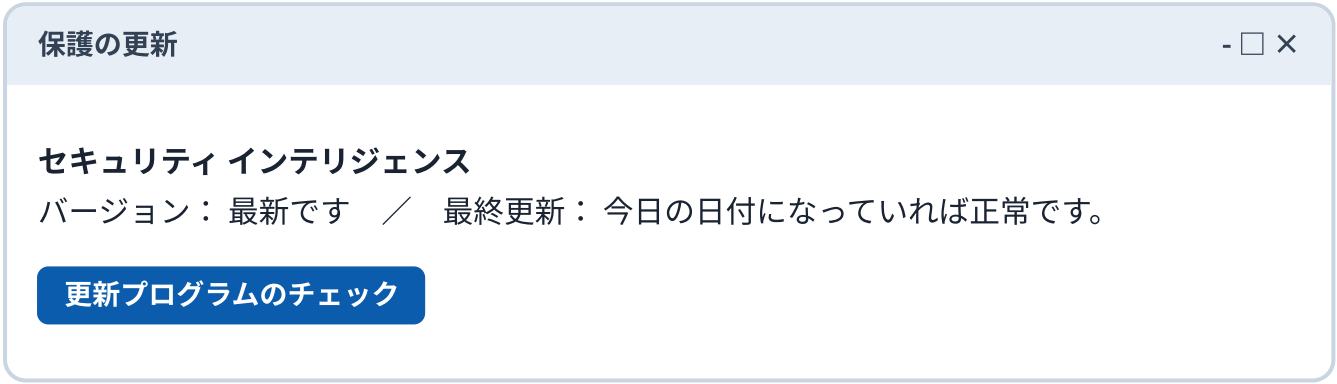
ウイルスは毎日新しいものが出ます。Defender の「辞書（定義）」を新しく保つことが、いちばん大切な予防です。通常は自動で更新されます。

手動で更新を確認する方法

1. **「ウイルスと脅威の防止」を開く**

2. **下の方の「ウイルスと脅威の防止の更新」を見る**
   「保護の更新」という青い文字をクリックします。

3. **更新プログラムのチェック を押す**
   新しい定義があれば自動で取り込みます。「最新の状態です」と出れば完了です。



図：保護の更新の画面（イメージ図）。最終更新が今日、または昨日の日付なら正常です。

Windows 本体の更新も忘れずに

1. **スタート → 設定 → Windows Update を開く**

2. **更新プログラムのチェック を押す**
   更新があれば入れ、「再起動してください」と出たら、作業を保存して再起動してください。再起動しないと更新は完了しません。

ポイント：「更新を止めない」「再起動を先延ばしにし続けない」- この2つだけで、多くのトラブルを防げます。週に1回は再起動する習慣がおすすめです。

5. 警告が出たとき ・ 毎日の習慣

「脅威が検出されました」と出たら

1. **あわててパソコンを切らない**
   まず画面の文を読みます。Defender の通知なら、多くはすでに自動で対処が始まっています。

2. **「保護の履歴」で何が起きたか確認する**
   「ウイルスと脅威の防止」→「保護の履歴」を開くと、見つかったものと対処の結果が残っています。

3. **「検疫済み」「削除済み」なら安心して大丈夫**
   対処が終わった記録です。判断に迷う表示や、繰り返し出る警告は、触らずにサポートへ相談してください。そのとき警告の文をメモしておくと伝わりやすいです。

本物そっくりの偽警告に注意： インターネットの画面全体に「ウイルスに感染しました。今すぐ電話してください」と出て、電話番号が書いてあるものは、ほとんどが偽物です。電話をかけず、お金を払わず、画面を閉じてください。閉じられないときはサポートに相談してください。Defender 本物の警告が、電話番号を表示することはありません。

安全を保つ、かんたんな習慣チェック

- □ ホーム画面がすべて緑か、ときどき確認している
- □ リアルタイム保護がオンになっている
- □ 週に1回は再起動している（更新を完了させるため）
- □ 月に1回くらいクイック スキャンをしている
- □ 知らないメールやサイトのファイルは開かない
- □ 「今すぐ電話して」と迫る画面では、電話をかけない

困ったときの合言葉：「緑なら安全、黄と赤は開いて指示どおり、迷ったら触らず相談」- これだけ覚えておけば大丈夫です。

このマニュアルは Windows 11 の標準機能（Windows セキュリティ / Microsoft Defender）の基本操作をまとめたものです。画面の文言は Windows の更新により少し変わることがあります。

ケーエイチシー　https://www.shop-khc.jp/ww/
作成　マニュアル作成担当　Meta AI　レン君